

平成23年度 事業報告

平成23年度は、東日本大震災と福島第一原発事故により発生した災害廃棄物（瓦礫等）の撤去・処理問題やTPP（環太平洋経済連携協定）交渉参加への課題など内政・外交ともに多難であったが、「FIFA女子ワールドカップドイツ2011」で「なでしこジャパン」が優勝したことは、日本中に深い感動と勇気を与えてくれた。

浄化槽関連では、震災後の復興に向け、主に中型浄化槽（30人槽～50人槽）が被災地の仮設住宅等に設置されたことで、災害に即応できることが認められ社会的な評価を高めた。

このような状況の中、当協会では、昭和46年の設立以来、40周年を迎え記念式典を開催したほか、記念誌（清流 40年のあゆみ）を発刊し、全会員に配付するとともに関係行政機関、関係団体へも配付して組織の成長や事業活動等をPRした。

また、事業関係では、松山市から緊急雇用創出事業として「浄化槽台帳整備事業」を受託し、平成21年度に愛媛県から受託し実施した「浄化槽設置及び維持管理実態調査事業」と合わせた県下全域の「浄化槽設置台帳」の整備を行った。

法定検査事業においては、検査結果書の総合所見の細分化（追加）並びに様式を変更し、管理者（設置者等）の検査に対する理解を深めるとともに、行政機関等との連携を図り、検査基数の拡大に努めた。

その他、平成23年度事業計画に基づき実施した事業は、次のとおりである。

I 事業

〔公益目的事業〕

1. 浄化槽法第7条・11条に基づく検査事業

(1) 「第五次法定検査実施5ヶ年計画」の2年目に当たる今年度は、検査員24名体制で7条検査3,003基、11条検査48,390基の計51,393基を実施し、計画基数51,050基を343基上回る結果となった。

<平成19年度～平成23年度 実績>

年度	H19	H20	H21	H22	H23
7条	4,536	4,075	3,333	2,898	3,003
11条	39,146	42,135	44,643	46,479	48,390
計	43,682	46,210	47,976	49,377	51,393
検査員数	19人	21人	22人	23人	24人

- (2) 法定検査受検率の向上を図るため、平成15年度から開始している、保守点検・清掃・法定検査を浄化槽管理者と一括して契約する「一括契約」により7条検査329基、11条検査1,785基の計2,114基を締結した。

(内 訳)

対象地区	7条	11条	合 計	備考 (事業開始日)
伊予市	59	687	746	H15. 4. 1
松前町	94	762	856	H16. 10. 1
久万高原町	14	332	346	H16. 6. 15
愛南町	162	4	166	H22. 10. 1
合 計	329	1,785	2,114	

(備考)愛南町は、保守点検・法定検査の一括契約。

- (3) 一部抽象的な表現となっていた検査結果書の総合所見を細分化して追加するとともに、様式を変更（BODの文字を大きく表示する等）し、管理者（設置者等）がその内容を理解しやすいものとした。
- (4) 「浄化槽電子台帳」のデータ更新を1ヶ月ごとに行い、保健所・市町へ提供するとともに、11条検査未受検者への指導・PRを保健所・市町等と連携し、新たに621基の11条検査を実施した。
- (5) 法定検査の結果、不適正等と判定された浄化槽を対象に、検査対策委員会において改善指導の検討や処理を行う一方で、設置者等に起因する不適正浄化槽については、保健所及び浄化槽法に係る事務権限移譲実施市町に改善指導を要請した。
- (6) 浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の主催による「検査実務者研究会」を松山市で開催し、検査事務及び検査現場の実務について情報交換を行った。
- (7) 「四国地区協議会検査員及び水質担当者研修会」、「全国浄化槽技術研究集会」及び「公衆衛生技術研究会」へ参加し、検査員の技術向上及び専門的知識の習得に努めた。

2. 浄化槽の普及及び浄化槽工事・維持管理の適正化事業

(1) 浄化槽の普及

- 1) 公益社団法人愛媛県浄化槽協会に組織及び名称を変更したことに伴い、浄化槽普及啓発事業等に活用するため、PR効果の大きい「ノボリ」、「イベント用スタッフジャンパー」、「展示パネル」を作成した。
- 2) 次世代を担う子供たちに対する環境学習の一環として四国中央市で開催された「働く人に学ぶ講座」に参加・協力を行った。

- 3) 支部が主催・協賛する浄化槽普及啓発事業（延べ8事業）に助成金を交付し、支部活動の推進に協力した。

支部	開催日	事業名
今治	平成24年 1月15日(日)	「かわらぬ愛きくま2012」
	平成24年 3月 4日(日)	「リサイクル工房いまばり」
松山	平成23年 7月12日(火)	松山市安城寺町「第42回浄化槽実態調査」
	平成23年 7月22日(金)	浄化槽普及啓発冊子作成・配付
	平成23年10月15日(土)・16日(日)	松山市「みんなの生活展2011」
	平成23年10月27日(木)	松山市安城寺町「第43回浄化槽実態調査」
	平成24年 3月 4日(日)	松山市久谷町「坂本校区文化交流会」
宇和島	平成23年10月15日(日)	宇和島市きさいや広場「浄化槽普及活動」

(2) 浄化槽機能保証制度事業

浄化槽に対する信頼と安心・安全の確保を目的に、(社)全国浄化槽団体連合会で制度化された「浄化槽機能保証制度事業」を推進（登録：2, 144基）した。

<平成21年度～平成23年度 実績>

年度	四国中央	新居浜	西条	今治	松山	大洲喜多	八幡浜	西予	宇和島	計
H23	154	64	220	171	838	154	58	70	415	2,144
H22	154	57	229	150	822	154	70	70	279	1,985
H21	161	55	226	181	830	195	89	58	265	2,060

(3) 浄化槽設置届出等の事前指導

「愛媛県浄化槽取扱指導要綱」に基づき、県下9支部において浄化槽設置計画・届出書の事前指導（3, 047基）を行うとともに、浄化槽管理者(設置者等)に対し浄化槽設置届済証、点検記録用ファイル、リーフレットの配布により維持管理の重要性を周知した。

<平成21年度～平成23年度 実績>

年度	四国中央	新居浜	西条	今治	松山	大洲喜多	八幡浜	西予	宇和島	計
H23	205	276	258	238	1,262	190	78	92	448	3,047
H22	227	255	294	230	1,302	187	94	80	428	3,097
H21	210	273	279	264	1,234	224	96	77	335	2,992

〔収益事業〕

3. 行政及び浄化槽関連機関からの業務受託事業

愛媛県及び松山市等の委託事業を受託し、自主管理機能の体制整備、適正な施工・維持管理の推進、法定検査の円滑な実施に努めた。

(1) 松山市からの業務受託「浄化槽台帳整備事業」

第2回目（前回：平成12・13年度）となる松山市からの委託事業「浄化槽台帳整備事業」を受託し、旧北条市、旧中島町を含めた松山市全域の実態調査を行い、「浄化槽設置台帳」の完全整備を図るとともに、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換及び維持管理の啓発パンフレットを配付した。

【実態調査結果】

区分	調査 基数	調査 対象外	廃止	不明	合計
基数	32,494	17,785	18,623	—	68,902
比率 (%)	47.2	25.8	27.0	0	100

(備考)

- 1) 調査対象外は、H23年度に7条、11条検査実施済み及び新設予定のもの。
- 2) 現存数は、50,279基〔32,494(調査基数)+17,785(調査対象外)〕
- 3) 廃止には、単独等から合併処理浄化槽への転換含む。

【廃止内訳】

廃止理由	基数	比率 (%)
下水道等への 接続	12,775	68.6
計画中止	244	1.3
休止(未使用)	1,121	6.0
その他(消失)	2,404	12.9
転換	2,079	11.2
合計	18,623	100

(2) 愛媛県及び松山市からの業務受託「浄化槽登録業者指導事業」

今年度は特に、適正施工（基礎コンクリートの打設・配筋）の徹底を最重点として指導を行った。

(3) 松山市からの業務受託「浄化槽設置整備事業に係る現地確認業務」

- 1) みなし浄化槽等からの転換の事前状況（277基）
- 2) 浄化槽の据付工事状況（655基）
- 3) 設置後の機能等の状況（655基）

(4) 浄化槽関係機関からの業務受託

- 1) 財団法人日本環境整備教育センター
 - ・全浄協登録浄化槽実地調査（7基）
 - （上期分）㈱ダイキアクシス 1基 積水ホームテクノ㈱ 4基
 - （下期分）㈱ダイキアクシス 2基
- 2) 浄化槽メーカー（㈱ダイキアクシス）
 - ・浄化槽の国土交通大臣認定に係る「性能評価試験」（平成22年度継続事業）

〔その他の事業〕

4. 浄化槽事業者の把握、指導育成及び関係機関との連携等事業

(1) 研修会の開催

- 1) 「東日本大震災における浄化槽の被害状況」及び「浄化槽の一次処理装置におけるスカムの有無による性能の相違」をテーマとした「浄化槽技術研修会」を平成24年2月16日(木)松山市で開催(参加者:146名)した。
- 2) 支部が主催・協賛する「支部実施研修会」に助成金を交付(6支部)した。

支部	開催日	研修内容	参加者数
新居浜	平成24年2月14日(火)	平成23年度重点指導事項の説明 他	40名
西条	平成24年1月27日(金)	法定検査指摘内容について 他	45名
今治	平成23年11月15日(火)	合併処理浄化槽の制御盤の構造 他	34名
大洲喜多	平成23年10月28日(金)	「みんなで守ろう水環境」(講演)	154名
八幡浜	平成23年7月20日(水)	法定検査における指摘事項について 他	41名
宇和島	平成23年10月15日(日)	コンパクト型浄化槽の施工要領 他	50名

(2) 関係行政機関及び関係団体との連携

- 1) 「浄化槽業務推進連絡会」(浄化槽整備事業実施市町が参加)を東・中・南予で開催し、補助基数の拡大及び維持管理補助制度等の創設を要請するとともに、適正な施工・維持管理及び円滑な法定検査の実施に向け、情報交換を行った。
- 2) 社全国浄化槽団体連合会、全浄連四国支部、指定検査機関四国地区協議会及び浄化槽関連団体との連携を深め事業の円滑な推進を図った。

(3) 浄化槽に関する情報の収集、提供

- 1) 浄化槽に係る行政や業界の動き、他県の活動状況等の情報を会員及び行政機関に伝えるため、機関誌「えひめの浄化そう」の発刊(8月、3月発刊)及び「全浄連ニュース」(年4回)を配布した。
- 2) ホームページを通じて広く一般に対し、浄化槽の構造・機能等への理解及び協会の組織・活動状況のPRを行った。

(4) 水環境保全に係るボランティア活動

実施日	活動場所	内容	参加者
7/17(日)	五色浜公園	公園内のゴミ収集及び清掃	松山支部会員等:18名
7/31(日)	尻無川	河川のゴミ収集及び除草	新居浜支部会員:19名
12/17(土)	森の交流センター	落ち葉掃き・敷地内清掃等	職員:15名

II 公益認定法人としての組織整備

1. 公益認定法人としての組織運営

公益認定法人として、各種法令（公益法人認定法等）を基本とする組織運営を図るため、各種セミナーに参加するとともに、他の公益認定法人との情報交換を行った。

2. 東日本大震災に係る義援金の寄付

東日本大震災への復旧・復興に向けた義援金として、総額250万円(会員等2,355,000円、協会145,000円)を日本赤十字社愛媛県支部に寄付を行った。

3. 「会費保証書」の更新

公益認定法人として安定的な組織運営を図るため、平成14年度から実施している会員相互保証による「会費保証書」（保証期間5年間）の更新を行った。

III 法人設立40周年記念行事の実施

当協会は昭和46年7月に設立し、平成23年度で40周年の節目の年を迎えたことから、第1回通常総会開催に併せ、記念式典を開催したほか40周年記念誌を発刊した。

○記念式典

- ・日 時 平成23年5月28日（土）16:00～19:30
- ・場 所 国際ホテル松山

○記念事業「あったか愛媛NPO応援基金」への寄付（50万円）

○40周年記念誌「清流 40年のあゆみー快適な生活環境を目指してー」の発刊

- ・発刊日 平成23年11月30日
- ・発行部数 800部

（主な配布先）

- ・会員 572
- ・県 28
- ・市町 20
- ・関連団体 62（全浄連会員団体、県内関係団体等）